

横浜市総合保健医療センター

指定管理者選定委員会 報告書

平成 22 年 9 月

横浜市総合保健医療センターの指定管理者の選定にあたり、横浜市総合保健医療センター指定管理者選定委員会（以下「委員会」という。）は、業務の基準、申請要項、評価項目・基準を作成するとともに、申請団体から提出された申請書類の審査、プレゼンテーション及びヒアリング審査を行いました。この度、指定候補者を選定しましたので、ここにその結果を報告します。

1 委員会における選定の手順

委員会では、申請団体である現指定管理者から提出された書類の審査を行うとともに、プレゼンテーション及びヒアリング審査として、申請団体からの提案説明を受け選定委員による質疑等を行いました。

その後、委員による意見交換、審議を経て各委員の採点を確定し、財団法人横浜市総合保健医療財団を指定候補者として選定することの可否を審議しました。

2 選定結果

委員会において厳正な選定審査を行った結果、財団法人横浜市総合保健医療財団を指定候補者として選定しました。

3 得点

横浜市総合保健医療センター指定管理者申請者採点集計表

項目		評価点(合計)
1 総合的な基本方針・達成目標		40/50
①	指定管理者としての基本方針・達成目標	40
2 事業計画		191/225
①	診療所の運営に関する事業計画	40
②	介護老人保健施設の運営に関する事業計画	40
③	精神障害者支援施設の運営に関する事業計画	46
④	安全管理についての考え方	20
⑤	各施設の連携についての考え方	23
⑥	その他の事業計画	22
3 職員配置・育成		39/50
①	職員の確保、配置及び育成	39
4 施設の管理運営		136/175
①	施設及び設備の維持保全及び管理	21
②	清掃・外溝植栽管理・環境衛生及び廃棄物処理業務	20
③	個人情報保護・情報公開への取組	20
④	市民サービス、業務水準の向上	19
⑤	指定管理中の収支計画	19
⑥	収入確保に向けた取組	19
⑦	コスト削減に向けた取組	18
合 計		406/500

4 講評

委員会としての講評（評価コメント）は次のとおりです。

- 認知症看護認定看護師がいるとのことだが、経口的に食事ができるようサポートのできる、口腔ケアに関する専門の看護師を今後は育ててほしい。
- 日々の業務に追われ、やる気があっても研究や調査などへなかなか参加できないことがあると思うが、若手職員が積極的に参加できるような環境、雰囲気作りを大切にしてほしい。
- 診療所と精神障害者施設の連携はとてもよい。
- 訪問看護ステーションは非常に重要であり、今後とも継続してほしい。
- 精神科の医師が5名もおり、その5名とも精神保健指定医であることは、大変素晴らしいことなので、今後とも大切にしていってほしい。
- 課題や目標、会議の開催頻度等、具体的な数値がはっているとよかった。
- 公的なセンターであるため、精神保健福祉領域のリーディングカンパニーを目指した運営については、評価できる。
- 申請書類は、資料としてはよくできており、横浜市が直接運営するよりは、財団に運営を任せてよかったと思うので、今後も当財団に運営を任せたいと思う。
- 大変努力をしている財団だと思うが、職員にとってもよい財団でなければいけない。そういう観点から見ると、設定目標が高すぎるのではないか。公の施設であり、大変特徴のある施設であるため、利用者によりサービスを提供するだけでなく、どのようなサービスを提供したらよいのかという部分が明確になっていなかったのは、残念に思う。今後は、その考え方も加えるべきである。
- 安全管理について、きちんと教育を受けた人がマネージャーとして、仕事に携わるべきではないかと考える。
- 運営に関して厳しい状況があるので、収入を増やして、コスト削減する例など、具体的に増えてくるものがあったほうがよかったと思う。

5 選定の経過

- | | |
|-------------------|-----------------|
| (1) 第1回委員会 | 7月23日(金) |
| (2) 申請団体決定のお知らせ | 7月23日(金) |
| (4) 申請書類に関する質問の受付 | 8月2日(月)～8月6日(金) |
| (5) 申請書類に関する質問の回答 | 8月11日(水) |
| (6) 提出書類の受付 | 8月24日(火) |
| (7) 第2回委員会 | 9月17日(金) |

6 委員会の開催状況

第1回

議 題	1 委員長及び副委員長の選出 2 委員会の公開について 3 情報公開について 4 業務の基準、申請要項、評価項目・評価基準について
日 時	平成22年7月23日(金)18時00分から19時00分まで
開催場所	横浜市総合保健医療センター会議室
出席者	工藤委員、浅川委員、戸高委員、藤原委員、菅井委員
決定事項	1 工藤委員を委員長に、浅川委員を副委員長に選任した。 2 第1回は引き続き公開、第2回委員会の公開・非公開については、第2回委員会の冒頭で決定する。 3 議事録及び選定結果の公表とその方法など等について決定した。 4 業務の基準、申請要項、評価項目・配点について決定した。

第2回

議 題	1 プレゼンテーション 2 ヒアリング 3 採点 4 審査及び指定候補者選定 5 選定結果報告書
日 時	平成22年9月17日(金)18時00分から20時00分まで
開催場所	横浜市庁舎7階 7A会議室
出席者	工藤委員長、浅川副委員長、戸高委員、藤原委員、菅井委員
決定事項	1 プレゼンテーション及びヒアリングは公開し、採点からは非公開にすると決定した。 2 プレゼンテーション及びヒアリングについて、出席者5名とした。 3 各委員の採点結果を合計し、最終得点を決定した。 4 財団法人横浜市総合保健医療財団を指定候補者とすることを決定した。

7 横浜市総合保健医療センター指定管理者選定にあたっての評価項目及び評価基準 (1人当たり)

評価項目	内容	配点	採点の基準
1 総合的な基本方針・達成目標			10点満点×1項目=10点満点
①指定管理者としての基本方針・達成目標	総合保健医療センターの管理運営にあたって指定管理者としての基本方針・達成目標	5 ×2 10	5…特に優れた基本方針と達成目標が明確に示され、実現性が大いに認められる 4…優れた基本方針と達成目標が示され、実現性が認められる 3…基本方針と達成目標が示され、実現性がほぼ認められる 2…基本方針と達成目標に抽象的・不明確な点があり、実現性を認めにくい 1…基本方針と達成目標に抽象的・不明確な点が多く、実現性を認められない
2 事業計画			10点満点×3項目+5点満点×3項目=45点満点
①診療所の運営に関する事業計画	・公の施設としての役割を踏まえた取組 ・利用者満足度向上のための取組	5	5…計画内容が特に優れており、利用者等に提供するサービス等の水準は大いに高いものと認められる 4…計画内容が優れており、利用者等に提供するサービス等の水準は高いものと認められる 3…標準的な計画内容であり、利用者等に提供するサービス等の水準は中程度のものと認められる 2…計画は具体性、実現性に欠ける点があり、利用者等に提供するサービス等の水準はやや低い 1…計画は具体性、実現性に欠ける点が多く、利用者等に提供するサービス等の水準は低い
②介護老人保健施設の運営に関する事業計画	・施設の稼働率向上のための取組 ・在宅生活支援の方法 ・医療・介護水準向上のための取組	5 ×2	
③精神障害者支援施設の運営に関する事業計画	・関係機関との連携 ・地域医療への支援等についての具体的な計画	5	
④安全管理についての考え方	事故防止等、医療・介護の安全性の確保	5	
⑤各施設の連携についての考え方	診療所、介護老人保健施設、精神障害者支援施設等の相互の連携についての考え方、具体的な連携方法	5 ×1	
⑥その他の事業計画	要援護者に対する相談、情報提供等の実施、講習会等の開催、研修生・実習生の受入れなど、要援護者支援の一環として行う事業の計画及び自主事業の計画など	5	
3 職員配置・育成			10点満点×1項目=10点満点
①職員の確保、配置及び育成	必要な職員の確保と適正な配置及び育成について、勤務体制や業務分担、研修計画など	5 ×2 10	5…特に優れた考え方と具体策が明確に示され、実現性が大いに認められる 4…優れた考え方と具体策が示され、実現性が認められる 3…考え方と具体策が示され、実現性がほぼ認められる 2…考え方と具体策に抽象的・不明確な点があり、実現性を認めにくい 1…考え方と具体策に抽象的・不明確な点が多く、実現性を認められない
4 施設の管理運営			5点満点×7項目=35点満点
①施設及び設備の維持保全及び管理	利用者が施設を快適・安全に利用するための、施設及び設備の保守管理に関する考え方	5	5…特に優れた考え方と具体策が明確に示され、実現性が大いに認められる 4…優れた考え方と具体策が示され、実現性が認められる 3…考え方と具体策が示され、実現性がほぼ認められる 2…考え方と具体策に抽象的・不明確な点があり、実現性を認めにくい 1…考え方と具体策に抽象的・不明確な点が多く、実現性を認められない
②清掃・外溝植栽管理・環境衛生及び廃棄物処理業務	清掃、外溝植栽管理計画、環境衛生管理及び廃棄物処理業務について、作業頻度、作業内容、体制など	5	
③個人情報保護・情報公開への取組	個人情報の保護に対する取組みや、法人の運営状況等の公開など	5	
④市民サービス、業務水準の向上	市民サービスのあり方、業務水準の向上、施設のPR、利用促進策、モニタリング等についての具体的な計画	5 ×1 35	
⑤指定管理中の収支計画	平成23年度から平成27年度までの指定管理経費(管理運営費-施設運営収入)の考え方、目標及び年次計画	5	
⑥収入確保に向けた取組	利用料金を中心とした収入増を実現するための具体的方策及び年次計画	5	
⑦コスト削減に向けた取組	コスト削減、効率的運営のための具体的方策及び年次計画	5	
計		100	

8 横浜市総合保健医療センター指定管理者選定委員会委員（順不同・敬称略）

委員長	工藤 行夫	昭和大学横浜市北部病院教授
副委員長	浅川 明子	横浜創英短期大学看護学科 学科長教授
委員	戸高 洋充	NPO 法人神奈川県精神障害者地域生活支援団体連合会理事長
委員	藤原 佳典	東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 研究副部長
委員	菅井 實	日本公認会計士協会 神奈川県会